

経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）の
施設基準に係る届出書添付書類

<p>1 届出種別</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規届出（実績期間 年 月～ 年 月） ・再度の届出（実績期間 年 月～ 年 月） 																							
<p>2 届出区分 （該当するものそれぞれに ○を付すこと）</p>		<p>1 高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの</p> <p>2 エキシマレーザー血管形成用カテーテルによるもの</p>																					
<p>3 標榜診療科（施設基準に係る標榜科名を記入すること。）</p> <p style="text-align: right;">科</p>																							
<p>4 開心術又は冠動脈、大動脈バイパス移植術の実施症例数</p>			例																				
<p>5 経皮的冠動脈形成術の実施症例数</p>			例																				
<p>6 当該診療科の医師の氏名等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">医師の氏名</th> <th style="width: 25%;">診療科名</th> <th style="width: 25%;">勤務形態</th> <th style="width: 25%;">当該診療科の経験年数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>常勤 ・ 非常勤</td> <td style="text-align: center;">年</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>常勤 ・ 非常勤</td> <td style="text-align: center;">年</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>常勤 ・ 非常勤</td> <td style="text-align: center;">年</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>常勤 ・ 非常勤</td> <td style="text-align: center;">年</td> </tr> </tbody> </table>				医師の氏名	診療科名	勤務形態	当該診療科の経験年数			常勤 ・ 非常勤	年			常勤 ・ 非常勤	年			常勤 ・ 非常勤	年			常勤 ・ 非常勤	年
医師の氏名	診療科名	勤務形態	当該診療科の経験年数																				
		常勤 ・ 非常勤	年																				
		常勤 ・ 非常勤	年																				
		常勤 ・ 非常勤	年																				
		常勤 ・ 非常勤	年																				

[記載上の注意]

- 1 「1」は特掲診療料施設基準通知第2の4の(3)に定めるところによるものであること。
- 2 「4」及び「5」は、新規届出の場合には実績期間内に開心術又は冠動脈及び大動脈バイパス移植術が15例以上、かつ、経皮的冠動脈形成術が100例以上、再度の届出の場合には実績期間内に開心術又は冠動脈及び大動脈バイパス移植術が30例以上、かつ、経皮的冠動脈形成術が200例以上が必要であること。また、開心術又は冠動脈、大動脈バイパス移植術、経皮的冠動脈形成術の手術症例の一覧(実施年月日、手術名、患者の性別、年齢、主病名)を別添2の様式52により添付すること。
- 3 「6」は、次の従事者について記載すること。
 - ・ 5年以上の循環器科の経験を有する医師
 - ・ 5年以上の心臓血管外科の経験を有する常勤医師
- 4 当該届出は、病院である保険医療機関のみ可能であること。